

外国人を支援する「フードバンク FICEC」が
オープンしました

10月、赤い羽根共同募金と三菱財団の助成金を受けて、ふじみ野市を中心に活動しているふじみの国際交流センター（FICEC）と協力して、フードバンク事業を始めました。



この事業はコロナ禍等によって生活が苦しくなっている外国人を支援することを目的としています。その反響は大きく、昨年10月から今年の3月までで25か国、290件の利用がありました。

埼玉トヨペット様から防災食品を
大量にいただきました



10月20日、埼玉トヨペット本社ロビーにおいて、防災食品の寄贈式が行われ、関連事業部の関口部長からフードバンク埼玉へ13,594点 530.9kgの食品が寄付されました。

この食品は「防災用備蓄食品」ですが、おでん缶や羊羹などもあり種類が豊富で、賞味期限まで1年以上の余裕をもつてのご寄付でした。フードバンク埼玉や利用団体にとってはとても有難いお話です。

いただいた食品は、埼玉トヨペット様のご希望もあり、10/21・22の2日間の配布会で埼玉フードパントリーネットワークに参加する18団体に提供いたしました。

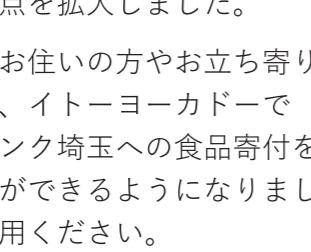
フードドライブキャンペーン

11月18日、イトーヨーカドー浦和店でフードドライブキャンペーンが行われました。



イトーヨーカドーは昨年11月から、毎日実施する『常設型のフードドライブ』を行っていますが、埼玉県資源循環推進課の協力も受けながら、大宮店(4/18～)を皮切りに、川口アリオ店(5/11～)、上尾店(5/18～)、久喜店(5/25～)とフードドライブ拠点を拡大しました。

最寄りにお住いの方やお立ち寄りの際には、イトーヨーカドーでフードバンク埼玉への食品寄付を行うことができるようになりました。ご利用ください。



高校生・大学生のインターンシップ、
ヒヤリングの受入れ

2020年度は高校生1回、大学生は8回13名のボランティア体験、ヒヤリング、調査を受入れ、フードバンクの裾野拡大に努めました。

- ・埼玉県立不動岡高校〔フィールドワーク5人〕
- ・拓殖大学商学部〔インタビュー3人〕
- ・東京理科大学経営学部〔ヒヤリング2人〕
- ・獨協大学国際教養学部〔インタビュー3人〕
- ・埼玉県立大学保健医療福祉学部〔ボランティア体験1人〕
- ・明治大学経営学部〔ヒヤリング1人〕
- ・獨協大学外国語学部〔ボランティア体験1人〕
- ・大妻女子大学家政学部〔ボランティア体験1人〕
- ・十文字学園女子大学人間生活学部〔ヒヤリング1人〕



冷蔵庫、冷凍庫が久喜倉庫に設置されました

新設した久喜倉庫では賞味期限が1年以上ある食品や食品以外の生活関連物資を保管していましたが、赤い羽根コロナ対策助成金で冷蔵庫、

冷凍庫を設置し、昨年12月から冷蔵、品の受け入れも始まりました。



本庄市「大恩寺（ベトナム寺院）」への食糧

11月19日、実習生や留学生のベトナム人が避難している「大恩寺」への緊急食糧支援を行いました。

11月初旬に朝日新聞等で避難したベトナム人が集団生活をしている「大恩寺」の様子が報道されました。

フードバンク埼玉は埼玉県立大学の川越雅弘教授のアドバイスを受け、11月19日に現地を訪問し、住職のティク・タム・チーさんと打合せを行いました。

その時点で「大恩寺」には、20数名が帰国を待って生活していること、大恩寺の住職が群馬県や長野県をはじめ全国のベトナム人の支援をしていることを教えていただきました。

そこでフードバンク埼玉は、11月26日、12月6日、12月18日に防災用のアルファ米やレトルト食品、精米100kgなどをお届けしました。

※2020年5月時点では、ベトナム人の技能実習生、留学生は17,000人もおり、生活に困窮している人が多いとのことでした。



「ついたちまんじゅうの会」から「お菓子」
を寄付いただきました

12月10日と17日、さいたま市内15の和菓子屋さんが参加した「ついたちまんじゅうの会」から、浦和銘菓『白露宝』やどら焼き、パイ生地のお菓子など1970個をいただき、さいたま市内を中心に子育て応援フードパンリー18団体に提供しました。



この企画はさいたま市資源循環政策課から紹介されたもので、コロナによる販売減少で使用しなくなった小麦粉を、「無駄にしたくない」という思いがきっかけでした。市内の「ついたちまんじゅうの会」の会員で話し合って「この際、子どもたちに食べてもらいたい」ということになり、

フードバンク埼玉がお手伝いさせていただきました。

「長野県山内農園」からリンゴの寄付
がありました



長野県信州中野市にある山内農園さんは、2019年9月の台風9号で大きな被害を受けました。

水害から立ち直る中、昨年1月にフードバンク埼玉に約8000個ものりんごの寄付をいただきました。いただいたりんごは、子ども食堂やフードパンリー、社会福祉法人子どもの町などに提供しました。

お米、小麦粉の寄付をお願いします！

毎年6月から8月にかけてはお米の在庫が底をつき、みなさんへの提供ができなくなります。お米はすべての方から要望される食品です。



また、小麦粉も一人親家庭や外国籍の方には必需品です。ご協力をお願いします。

